

連携中枢都市圏「北九州都市圏域」

～北九州市長が宮若市長・小竹町長との懇談を実施します～



北九州市では、将来にわたる地域の持続的な発展と、社会経済のさらなる活性化を目指し、近隣の17市町と「北九州都市圏域」を形成し、各分野で様々な連携事業を推進しています。

この度、北九州都市圏域における効果的な連携の推進に向け、北九州市の武内市長が、圏域構成市町である宮若市及び小竹町を訪問し、首長との個別懇談をはじめ、施設の視察等下記のとおり実施します。

ぜひ、取材方よろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和8年7月8日（水）13時30分～16時10分 ※詳細は別添参照
- 2 懇談会場 宮若市：MUSUBU AI（宮若市脇田394）
小竹町：こたけまち絵本館 木のうた（小竹町大字勝野3765番地56）
- 3 出席者 北九州市長 武内 和久
宮若市長 柴田 裕美子（しばた ゆみこ）
小竹町長 井上 頼子（いのうえ よりこ）
- 4 駐車場 別添地図【駐車場】のとおり
- 5 問合せ先 政策局政策課
担当：加藤（課長）、松野（係長）／電話：093-582-2302

【行程】

	項目	時間	場所
宮若市	視察①	13:35～13:45	みやわかの郷 (宮若市脇田 355 番地)
	移動	13:45～13:47	みやわかの郷 → MUSUBU AI【徒歩】
	視察②	13:47～14:15	MUSUBU AI (宮若市脇田 394)
	懇談 (挨拶・試食)	14:15～14:25	
	懇談	14:25～14:40	
小竹町	視察③	15:32～15:37	こたけまち絵本館 木のうた (小竹町大字勝野 3765 番地 56)
	懇談 (挨拶)	15:37～15:40	
	懇談	15:40～15:55	

<視察先の紹介>

ポイント

①みやわかの郷(宮若市) 最先端のリテール AI を活用した次世代店舗

宮若市が整備した農業観光振興センターで、地元農産物や加工品の販売、観光情報の発信などを行う施設。官民連携により廃校を活用して整備されており、トライアルグループのノウハウを生かした施設運営が行われている。当日はみやわかの郷で視察したお米を懇談会場(MUSUBU AI)で試食する。

ポイント

②MUSUBU AI(宮若市) 廃校から生まれた AI 研究拠点

トライアルが、廃校となった旧吉川小学校を活用した、小売りにおける AI 開発の拠点。また、同施設で毎月 1 回開かれる「宮若 WEEK」では、ワークショップを通じて、トライアルの顧客データを活用しながら、商品開発や販促効果を検証しており、当日は実際にその様子を視察する。

③ こたけまち絵本館 木のうた(小竹町) 絵本と人をつなぐ場所

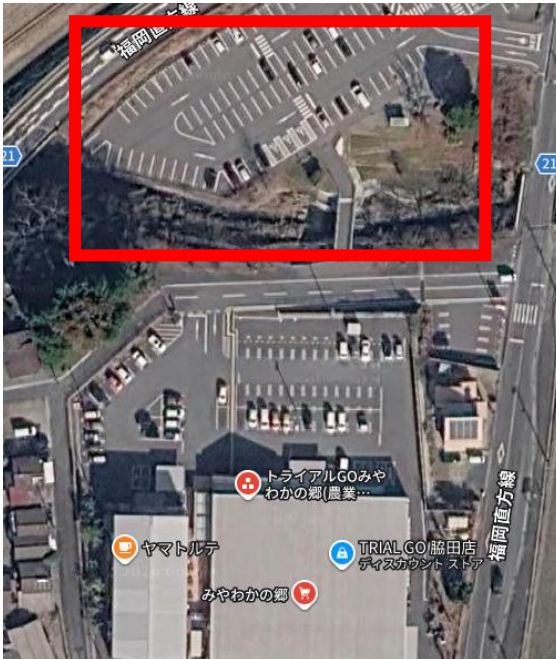
希少な絵本の展示や企画展を行う私設の絵本館で、本を通じた文化交流と地域の魅力発信を担う拠点。

<宮若市での試食について>

懇談に先立って、懇談会場内で宮若市産「ブランド米」及び北九州市の郷土料理「めか炊き」を試食し、双方の地域資源や食の魅力を紹介します。

【駐車場】

(1)宮若市(みやわかの郷)



(2)小竹町(こたけまち絵本館 木のうた)

